

# 藤澤鋼板

# 大型レベラーの「シャワー」更新

## 切板の断面精度を向上

有力熱延コイルセンターの藤澤鋼板(千葉県浦安市鉄鋼通り、社長・藤澤鐵雄氏)は、コイルカットシート製品(切板)の品質を高めた。大型レベラーラインのシャワー(剪断)設備を全面更新し、剛性と駆動パワーを高めたことで、板厚6ミリのハイテン60キ鋼でもライン速度を落とさずにバリの発生を抑え、断面精度を良くした。生産性も向上し、品質と納期対応の両面で顧客サービスを増している。

主力設備の大型レベラーライン「鐵腕レベラー(T-1)」は熱延黒皮および酸洗が対象。仕様は板厚1.6〜6ミ、最大幅1.6ミ、最大切断長さ6.1ミとなっている。これまで老朽化などに伴うシャワー部分のパワー不足が原因で、特に厚物ハイテンの5幅サイズについては品質精度の確保を優先するためにライン速度を落として剪断していた。

それでも設備本体にかかる負荷は大きく、無理を強いると故障も懸念されていただけに「シャワーの全面更新が急務」(藤澤社長)と判断。基礎部分の改良も含め、総額約1億円

を投じて最新鋭シャワー(コーハン製)を導入し、10月下旬から営業運転を開始している。自動車関連を中心に客先の高強度・軽量化ニーズが高まっていることから、ハイテン材の加工注文は漸増する傾向にある。

11月は上旬から受注状況も好調。現時点で計画を上回っており、月産4千トンをクリアする勢いにある。需要回復の手応えを感じており、藤澤社長は「顧客の求める高品質・高精度のカットシート製品を納期どおり安定供給することで顧客満足につなげていきたい」としている。



一新したシャワー設備①、カットシート製品の断面精度が向上

**平鋼7.0m定尺 販売開始**  
 平鋼・角鋼・広幅平鋼  
**西村鋼業株式会社**  
 お問い合わせ・ご注文  
 047(352)3181 (鉄鋼部)  
 0278(56)2460 (北関東支店)  
 0467(76)0211 (神奈川支店)  
 0223(29)2460 (東北支店)  
<http://www.nishimura-kogyo.co.jp/>